

○委員長（井上宜久）

引き続き、議案第15号 平成26年度開成町給食事業特別会計予算を議題とします。

早速、給食事業特別会計の歳入歳出予算について、詳細質疑を行います。

質疑をどうぞ。

高橋委員。

○2番（高橋久志）

2番議員、高橋です。

今回、26年4月からの消費税改定に伴って、給食事業の幼稚園から小学校、中学校について改定されているわけです。それは消費税の絡みだと思っているところでございますが、私の質問は、この改定をするに当たって、教育委員会サイドで、給食管理委員会でこれを決めたと、こういう形ですけれども、非常に町民にかかわる内容だと思うわけです。保護者にもかかわる問題。ここは、個々に審議してもらうのではなくて、私たちの議会等でもこういった問題の対応、改定に伴う、これがあってもいいのではないかという私の感じを持っているのです。これは、規則その他で今回の給食管理委員会、教育委員会のサイドで決めると、こうなっているのか、この辺がわかりかねておりますので、説明をお願いします。

○委員長（井上宜久）

教育総務課長。

○教育総務課長（井上 新）

高橋委員のご質問にお答えをさせていただきます。

給食の給食費の組み立てでございますけれども、条例規則の関係でいきますと、開成町学校給食費徴収規則、規則で給食費の金額が決まっております。この規則の改定に当たりましては、先ほど委員申されましたとおり、学校給食管理委員会、こちらの意見を聞きつつ教育委員会で最終決定をさせていただいている内容でございます。ということで、徴収規則の内容の変更に当たる部分でございますので、教育委員会で決定をさせていただいたという経過でございます。

○委員長（井上宜久）

高橋委員。

○2番（高橋久志）

そうしますと、規則ですから、そういう状況だとわかりました。

ただ、こういった関係については、規則から条例に格上げをして、いろいろな関係、我々も町民の代表として議会に出ておりますし、利用者の声も踏まえながら、こういった、今回は値上げの関係ですけれども、別な形で引き上げるとか、いろいろな状況が生まれてきたときに、論議をして合意を得た形で対応すべき課題だろうと思っておりますけれども、そういった関係については検討されていないということでしょうか。

○委員長（井上宜久）

教育長。

○教育長（鳥海 均）

お答えします。

給食管理委員会の構成メンバーが住民の代表という形で組織していますので、もちろんPTAの代表もいますし、それぞれ各学校の代表もいますので、そういう意味では広く町民の意見を聞いているというふうには理解しているのですけれども、それを議会でやるかどうかということについては、今のところ規則ですので、教育委員会で決定という形で行っています。

以上です。

○委員長（井上宜久）

高橋委員。

○2番（高橋久志）

そのことは、わかりました。私が言っているのは、規則を格上げして条例の関係というのは考えを想定しているのかどうか質問しているのですけれども、それは、この関係についてはそぐわないという形なのかどうか、お答え願いたい。

○委員長（井上宜久）

教育委員会事務局参事。

○教育委員会事務局参事（小野真二）

ただいまのご質問なのですけれども、記憶が確かではないのですけれども、地方自治法上の規定の中に、権利を課し義務を制限するものについては条例で定めなければいけないというような表現をされていたものがあったと思います。それには、この給食の代金等については該当しないということの中で、このような条例規則というような整理がされているという認識をさせていただきます。

○委員長（井上宜久）

高橋委員。

○2番（高橋久志）

給食費の関係については保護者の関係を含めて、いろいろ考えがあると思っております。私どもについては、幼稚園、小学校、中学校については自校方式ですから、おいしい給食が提供されていることは理解をしております。

地方自治体を見たときに、給食費用を免除しているとか、あるいは免除については決まり事があるかと思うのですが、一部負担をする、そういった関係も現実には全国にあるわけございまして、そういったものを含めたときに、学校管理、悪いというわけではないのですけれども、検討する余地があつて多くの方、我々、町民の代表として議員が先ほど言ったようにあるわけですから、そこでも論議させていただければなと思っておりますのですけれども、そういう考えは持っていないということでしょうか。

○委員長（井上宜久）

教育委員会事務局参事。

○教育委員会事務局参事（小野真二）

ただいま教育長等も答弁させていただきましたように、現在のところでは、今のとおり規則という形で運用をしていきたいと考えてございます。

○委員長（井上宜久）

山田委員。

○８番（山田貴弘）

山田貴弘です。

今、同僚議員から発言がある中で、議会に諮ってほしいということが申されたのですが、私は逆に、この特会をここで議論していること自体が違うのではないのかなという立場なのです。前から言っているのですが、この特会はもうなくして、一般財源に食材費として入っているものを歳入として入れればいいのではないのかなという。先ほどからのお話の中ではP T Aを交えた中で話をしているということなので、そこら辺は、それでいいのかなという部分があるので。自分は、どちらかというと特会をなくしてほしいという部分がありますので、そこら辺の部分では、食材に対しては議会が余り入るべきではないと思いますので、ぜひ、そこら辺を今後、毎回言っているのですけれども、検討してください。お願いします。

○委員長（井上宜久）

ほかに、質疑はありますか。ありませんか。

（「なし」という者多数）

○委員長（井上宜久）

ないようですので、以上で議案第１５号 平成２６年度開成町給食事業特別会計予算について、質疑を終了します。